アプリを活用した課題解決の持続可能な事業

研究者プロフィール

・地域総合学部　政策デザイン学科　教授　熊沢由美
・専門分野：社会保障、社会福祉

研究内容

地域の課題解決や活性化のための事業を持続的におこなえるようにする研究です。
具体的には、①独自のアプリを通して、〇〇ペイや〇〇ポイントを発行する（地域通貨）、②発行手数料の一部を導入者（商店街など）に還元し、財源化してもらう、というものです。
これにより、商店街の活性化が図れるとともに、ボランティアにポイントを付与したり、要支援家庭にポイントを給付をしたり、ポイント獲得のイベント開催など、ポイント付与の仕組みを活用することによって、地域課題の解決や助け合い、地域の活性化にもつなげられると考えています。
さらに、地域の情報提供や行政の手続き、税・保険料の納付、他社との連携など、よりよい住民サービスにつながるようなアプリの活用方法を研究していきたいと考えています。
なお、このアプリについては、（株）GreatValueの代表取締役・廣澤孝之氏とともに特許取得済です（特許第6987946号、発明の名称：情報処理システム、情報処理装置および情報処理プログラム）。Suica との連携も可能です（JR東日本承認済第6号）。

関連キーワード

課題の解決、地域の課題、助け合い、地域活性化、商店街の活性化、DX、地域通貨

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他

自治体や商店街と連携することで、地域課題の解決や活性化を実現していけると考えています。さらに、学校との連携で生徒の見守りや、企業との連携で従業員の健康づくりや脱炭素化の取り組みなど、アプリの活用方法を広げていけると考えています。

©まきペイ

事業化の例：静岡県牧之原市「まきペイ」
・ヒーロー：得意なことを登録。ボランティアなどでポイントを獲得。
・コミュニティ：物々交換、ボランティア情報など。
・QRラリー：歩いてQRコードを集めるイベント、謎解きイベントなど。
・ポイント利用：地元商店での買い物。利用者にポイント還元も。
・情報提供：地元の施設情報や避難場所、イベント情報など。
まきペイ　https://www.makipay.jp/
（株）Great Value　https://www.greval.co.jp/

研究者への連絡先

kumazawa@mail.tohoku-gakuin.ac.jp